

ワさん

暮らしに幸せ運ぶ

JA鶴岡

2018

January

No.565

1

JA 鶴岡広報誌

特集

2018 新春メッセージ



園芸品目研修会の開催について
折り込みチラシをご覧ください。



CONTENTS

特集

③ 2018新春メッセージ

⑥ 戌年さんの初夢

⑧ 新春文芸

⑩ 食の歳時記

⑪ 女性フェスティバル

⑫ NEWS & TOPIX

⑭ クロスワードパズル／ふれあい伝言板

⑮ J A からのお知らせ 編集後記「灯台」



今月のモデル

石山 小松 蒼昊くん (5才)

心くん (9才) (従兄弟)

長男の蒼昊は働く車が大好きで、いろいろな車の名前を覚えて知っています。特に祖父がトラクターやコンバインでの作業をしているとすぐに駆けつけて側を離れません。

今、お母さんのお腹に2人目の子が授かり6月出産予定です。

日常の遊びは昼夜一緒に居る兄の心くん (従兄弟) に。何をすることも一緒にです。心くんと生まれて来る子と共にたくましく育ててもらいたい。

(お父さん：重和さん お母さん：真由子さん)

新年あけましておめでとございます。

組合員の皆様におかれましては輝かしい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

平成30年、いわゆる「問題」の年を迎える事になりました。昭和45年より47年間続いた減反政策に変わり、国が直接関与しない新たな生産調整の始まりです。

果たして、どのような展開になるのか、しっかりと需給バランスは取れるのか、それはやって見ないとわかりません。しかし、鶴岡市農協に取ってこれまでの米に比重を置いた1本足打法から、米と園芸それぞれに軸足を置いた2本足打法に変えるスタートの年になる事は間違いありません。

近年、我々農業界の流れは規模拡大一辺倒であるが、この2本足打法によりその流れに逆らい、大規模ではなく中規模農家が数多く集落に存在する事が出来るようになるのです。そして、そこにまた多様な農家、高齢になっても生きがいの農業を続けている農家、これらの方々が寄り添う事によって集落が成り立ち、それぞれの集落に受け継がれて来た伝統行事を次世代に引き継ぐ事が出来るのではないのでしょうか。

農業者の所得の増大の先にあるのは、農業者1人1人、そしてその家族1人1人の心の充実による幸福感であります。この事を組合員の皆様から実感して頂く為に鶴岡市農協は存在しているのです。

本年も又、組合員の皆様にとって笑顔溢れる1年となります事を心より御祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

代表理事組合長 佐藤 茂一

2018 新春メッセージ

あけましておめでとうございます。

2018年の新春にあたって、

J A組織の中心で活躍されている

組織代表10名に、今年にかける

意気込みを語っていただきました。

語ってくれた人（順不同・敬称略）

- | | |
|---------|--------|
| ・野村 仁 | ・伊藤 狭 |
| ・本間 吉典 | ・伊藤 長市 |
| ・加賀山 雄 | ・本間 和助 |
| ・五十嵐 正谷 | ・福原 太一 |
| ・佐藤 克久 | ・小林 絹井 |

明けましておめでとうございます。来たる平成30年度は大きく米政策が変更されます。中味が変わっても、米の需給バランスの確保は基本な為今後さらなる産地間競争、ブランド米競争の激化は避けられないと思われます。今後迫られる農協改革、気象、コスト、労働力と積み上げられる問題に、天を見上げてうろたえるばかり。常に天や政治に翻弄されてきた農業者ですが、難局を乗り越える為にもまず足元から見直してみよう。経営診断や営農計画など、最善を尽くし、踏み出す方向を見定め、安全で健全な米作りをめざし、農家一軒一軒が、生産性を向上させ所得と生活を安定させる。それが協同体である農協の推進力にもなります。皆様にとって今年がよい一年になります様にお祈り申し上げます。

安全で健全な米づくりを目指して

生産組合長会長 野村 仁



新年あけましておめでとうございます。昨年は全国メロンサミットが鶴岡で開催され大勢の来場者に鶴岡の安全・安心でおいしいメロンを宣伝し、大好評を頂き成功を収める事ができました。そんな中、西郷の主力品目であるメロンにとっては非常にづらいシーズンでした。6月上旬の天候不順の被害を受け、販売高減少を余儀なくされました。今後この様な天候が想定されるので、栽培技術の向上、品種選定を徹底し天候に左右されない産地を目指します。私事ではありますが今年は厄年にあたっているため、しっかりと厄を祓い公私共に充実した一年にしたいです。メロン生産者の皆さん今年はV字回復目指して共に頑張りましょう！

V字回復

西郷砂丘畑振興会会長 本間 吉典



躍動

だだちゃ豆専門部部长 加賀山雄



新年のお喜びとともに新春のご挨拶を申し上げます。
皆様方には日頃より専門部の事業にご協力を頂き、感謝申し上げます。

農業は気象条件との闘いであるということを変更して強く感じた昨年度。その経過と結果を今年の生産にどう結びつけていくか、より良い生産環境作りのために役員の方々とJA職員の方々と検討を重ね、生産者の方々の力をお貸し頂きながら一丸となって良い成果をあげたいと考えております。

生産者・JA・市場・消費者にとって良い環境となり、飛躍して躍動することができるよう努めて参りたいと考えております。

新年の皆様のご健康とお幸せをご祈念申し上げます。

産直館・リフレッシュした新たなスタートの年に。

産直館運営委員会 五十嵐 正谷



明けましておめでとうございます。組合員の皆さま、産直館をごひいきにしてくださいませ。お客様にまず感謝を申し上げます。

早いもので平成も30年、産直館も発足から15年を迎えました。この節目の年にスタッフ、会員のみなさんと一緒に名実共にリフレッシュし、新たなスタートの年にしたいと思っております。

出荷品の充実、最盛期の残荷、午後からの品揃え、会員の世代交代等々、たくさん課題がありますが、「産直館に行くのが楽しみ」お客様、出荷者、スタッフみんなが「いがったのー」「ありがどのー」と言い合えるような産直を目指していきたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

祝30周年

花き振興部会部会長 佐藤 克久



新年あけましておめでとうございませう。

日頃より花き振興部会の活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年は、不順な天候と低調な相場に悩まされながらも、高品質な花を、前年を上回る量を出荷出来たことから、概ね順調な販売となりました。これもひとえに、生産者皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。

花き振興部会は平成元年に発足し、今年30年目を迎えます。美しい花は、人々の心を癒やし、生活を豊かにするパワーを秘めています。花き振興部会は、そんな綺麗な花を人々のもとへ届けたいという想いから始まりました。これからも生産者一丸となって、それぞれの生活シーンを彩る美しい花を全国に届けていきたいと思ひます。

米産地として

RCC 連絡協議会会長 伊藤 狭



昨年は、6月に低温で推移し茎数確保が難しく、また8月以降日照不足もあり個人差の出た年となりました。結果として青未熟が多く、品質・収量に左右されました。

米穀情勢としては、中価格帯である「はえぬき」の引き合いが強く、生産者米価に反映されています。しかし、8年目を迎える「つや姫」は、高価格帯銘柄として確立しつつありますが、全国各地から続々と新品種がデビューし、飽和状態といえます。現状に甘える事なく、良品質に努める必要があります。

現在、連絡協議会では第11次地域農業振興計画により共乾施設の展開方向について協議しております。組合員、稲作農家にとって魅力ある持続可能な施設、米産地としての方向性を定めて参りたいと思ひます。

夢のある人生を

畜産部会部会長 伊藤 長市

初春のお慶びを申し上げます。減反政策の廃止、TPP11協定、日欧EPA等より大きな自由貿易協定が出来、競争も激しくなるだろう。農業現場から見れば心配はつきない。

他産業からのUターン組である担い手農家の若者と話す機会があり、彼は稲作、枝豆を作り枝豆を加工して菓子作りの六次化にも力を入れておりました。

夢は、店舗を兼ねた自宅を建てる事だそうです。自分の考えで決断し農業でも夢に向けて一歩一歩地につけて、歩んでいる姿は、力強く自信にあふれ若者の先鞭として成功する事でしよう。誰かに強く進められてやるだけでなく、いろいろな選択肢があり、一歩ふみ出す勇氣を持つてほしい。その中に畜産も入っていたら幸いです。今年も良い年であります様にお祈り申し上げます。



自然気象、人の手

年金友の会会長 本間 和助

二十九年の年は、自然を相手に屋外で汗する一次産業に従事する同志は、大変な年であった。一作業一ヶ月以上かかっても良いものでない、毎年近県、近隣の山間部を車で走る。農地の40%が中山間地・荒廃と人口減少が進んで行く。誰も採算の合わないところは好まない。誰が悪いのか。親か、霞が関か、代議士の先生か、国民か？

さて我がJA年金友の会は、事業を実施する度参加者が増え、健康の証しと喜ぶところであります。また会員の要望で第一回輪投げ大会、全支所合同の懇親の場を設けたところ、大盛り上がり。握手する人。しばらくだのーと抱きつくヂヂ・ババ。遊ばせてもらって、景品もらって、やつぱり組織だのー。あっちゃや行くまで毎年こねばね、もしえ事えっぺしてくれとの声大でした。



発展し選択できる青年部へ

青年部委員長 福原 太一

日頃よりの青年部活動への温かいご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

私達青年部では、「盟友の減少に歯止めをかける」という事が長年の課題でありました。

世代構成や後継者不足も相まって現在では約90名での活動となっており、支部によっては活動に支障をきたしかねない事態になりつつある恐れすらあります。

そんな中、昨年はわずかですが増加に転じる事ができました。これも先達の皆さんが力を入れてきた、農政活動、食育活動、支部活動の三本の芽が少しずつ芽吹いてきた結果だと考えます。今、若い青年農業者は様々なチャンネルを持っています。今までの活動を維持発展していくとともに、多様なニーズを取り入れ、選択できる青年部を実現できるように皆さまと歩んで行きたいと思っています。



地域の元気は女性部から

女性部部長 小林 絹井

この地に生まれ育ち、農業一筋やつぱりこれが私の生きる道だったんだなあと。

自然と共に暮らし、季節を感じる。決して綺麗とはかけ離れた泥臭い職業ですが、毎年新しい芽が豊かな実りを結ぶ喜びを味わうことができる。

同じ環境の女性部の皆さんと出会い一緒に様々な事業を行ってきて、新たな学びが生まれ、少しずつ世界が広がってきました。

食と農の大切さを伝える私達の活動は地域に元気と輝きをもたらし、ますます重要な地域社会の柱となっていく事でしよう。「踏み出す勇氣、学ぼう、伝えよう、地域と共に！」を合言葉に、熱い思いと人とのつながりをパワーにして、女性部活動を楽しんでいきたいと思っています。





2018

戌年さんの 初夢



今年、年男・年女を迎える戌年生まれの皆さん。
新年にかける思いや夢、そして今、節目の年に何を思うか。
10名の方々にお話をうかがいました。

「今年頑張りたいこと」

わたしは、今年頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、スボ少のバスケットボールです。去年から入団したばかりですが、たくさん練習して確実にシュートを決められるようになりたいです。

2つ目は、今年、栄小学校は京田小学校と統合するので京田小の人とも仲良くがんばってきたいです。



小南 瑠優さん
本田

今年は、最高学年の6年生なのでしっかりと下の学年のめんどろを見て、みんなをまとめられるようにしたいです。

「楽しみながらスマートな人生を」

この原稿を依頼されて、もうこの歳になったのかと思う自分と、まだ若いと思う自分もいるのです。

就農してから40年が経ち、営農技術や農機具の進歩には驚かされます。今は、農業経営も組織化が進み、地域の人手不足の解消に取り組んでいます。

私も、色々な事を先輩に教わりました。先輩



木村 馨さん
西沼

の教えを後輩に伝えていきたいと思っています。私は、時代の進歩と趣味を楽しみ、スマートな人生を歩みたいと思います。良い年になるといいですね。

「集落を支える一助となりたい」

近年、集落の共同作業などに参加する機会が多くなりました。参加してみても、認識が改まった感じがします。それは、普段何げなく見ていた近所の風景が実は多くの人の手によって維持・管理されていた結果のものだったという事でした。当然ながら、管理されていない土地は荒れてしまいます。こんな当たり前の事に気付かされたのです。私は、今後集落の生活環境を維持するための一助となるように努力していきたいと思っています。



佐藤 祐一さん
谷定

最後になります。健康は全ての活動の基礎だと思っています。健康に留意し、感謝の心を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

「6年生になったら」

私は、いよいよ最上級生になります。私の目標は2つあります。

1つ目は、1年生の面倒を見ることです。1年生はたくさん、わからないことがあると思うのでしっかりと面倒を見たいです。たくさん遊んで交流を深めたいです。

2つ目は、スボ少です。私は4年生のときからバドミントンを習い始めました。いろいろな試合に出場して、たくさん勝てるように頑張りたいです。



吉住 未穂さん
井岡

今年1年、元気に健康にすごしていきたいです。



「我が集落、大所帯」

私の住む中楯は、19戸という大山地区内でも小さな集落です。

しかし、2世代・3世代家族そして、4世代家族まであり、子供の声がいつも聞こえて、とてもにぎやかです。

去年も、一組のカップルがめでたく誕生しました。



長谷川 篤さん
中楯

次の若い世代に、集落の宝である、美しい水田を守り、渡してゆくために、基盤整備を行うことになりました。これまで以上に、集落内の対話を大事にしていきたいと思っています。

「成長の年に」

田川に生まれ育ち二十四年。年女を迎え、どんな年になるのかワクワクしています。

看護師の道を選び、社会人になって二年。仕事の厳しさ、素晴らしさを日々感じています。まだまだ未熟者なので、自己研鑽に努め、人間的にも成長していかなければと思っています。



三浦 京さん
行メ

プライベートでは、最近買ったカメラで、日常の何気ない場面や、初めて訪れた土地の風景などをたくさん撮って楽しみたいです。そしてもうひとつ、女子力アップのため、料理もがんばるぞ！

「家族も仕事も大切に」

三度目の年女が巡ってきました。新年を迎える度に、家族全員が健康に恵まれ災難に見舞われる事なく元気にいられる事に本当に感謝しています。

昨年は自身の仕事も充実出来、家族の協力のおかげだと感じています。ただ、家の事や農業の事、何よりも子供達をはじめ家族との時間が不十分だったように思うので、今年はしっかりと家の仕事に取り組み子供との時間を大切にしていきたいと思っています。



川越 亜貴さん
福田

新年も感謝の気持ち忘れず、家族みんな笑顔で元気に過ごしていきたいです。

「良い一年にするために」

多くの今年の目標は、いよいよ6年生になるので責任感をもって生活する事です。昨年の運動会では6年生がいない地区だったのに3位に入賞する事ができ、それはみんなが責任感を持って自分の役割を果たすことが出来たからだと思ったからです。

ぼくは、スポ少で剣道をしていて、こっちは人数が少なく一人休むと練習がスムーズにいかなかったり、さみしい感じになったりするので、キャプテンとして団の気持ちバラバラにならないようにしたいです。



今野 譲さん
文下

少しずつ責任をもって行動をとって楽しい年男の1年にしたいと思います。

「そして父になる」

1月に妻が出産予定で、今年から父親になります。生まれる前から、出産の準備など、子ども中心の生活に…。出産後も赤ちゃんに振り回されて大変だとは聞きますが、それが不安でもあり、楽しみでもあり。オムツ交換やお風呂などを妻任せにしないで、一緒に子育てをしたいと思っています！今は…。



五十嵐 俊一さん
湯田川

今年は、父親一年目として、子どもと一緒に成長していきたいと思っています。そして、家族が、健康で楽しくにぎやかな生活を送りたいと思っています。

「人生100年を目指して」

歳をとると時間のたつのが早いと言われるが、あつという間の還暦。昔は人生50年といわれていましたが、今は現在60歳の人の平均余命は20年以上あるとか。

子供たちも独立し、妻と母の3人暮らしで、今年3月には42年続けた勤め人生活も終わりになります。

これからは、今まであまり手の回らなかった



菅原 俊介さん
勝福寺

畑での野菜作りなどに挑戦しながら、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、もう2、3回くらいは元気で年男を迎えられたらと思っています。

新春文芸

地元短歌会の皆様より

新春にふさわしい短歌を

ご寄稿いただきました

斎短歌会

作悪しき茄子株抜くはいとやすし根張り弱きに手抜きを悔やむ

渡部 芳光

芋づるを手繰り掘り出す薩摩芋うす皮いたはり土を落としぬ

渡部 健

育て来しピーナツの蒸し煮亡き息に供へて祈り今日も暮れゆく

齋藤 春子

十月の半ば過ぐるも咲きつげる窓辺の朝顔水色澄めり

菱谷 孝

もって菊今が盛りと咲き満ちて摘み取るたびに香りたちくる

門脇 仁吉

友の来てねぎの効能語りたる夕べ農の友軟白葱持ちちく

大沼 二三枝

雨あがり夕陽をうつくるトタン屋根光反へすをまぶしく眺む

佐藤 榮子

さくら道けやき道過ぎいちよう道バイクを駆りて落葉道ゆく

神尾 利明

晩秋の雪をつみたる月山の頂きの輝き紺青に映ゆ

渡部 長一

稲京短歌会

反り返る葉にくるまるるまだ小さき玉菜は固く緊張しをり

佐々木 秀子

軒下の手のひらごとき拵き葉の雪待つ白き八つ手花見ゆ

佐藤 年繁

有り難や初春早々の宮守を務め安堵の七草節句

五十嵐 多

見渡せば刈らぬ稲穂数多あり色づく鳥海山いただき白し

阿部 徹

除雪は俺がやると孫の言ふうれしい言葉に感謝の日々

菅原 精一

診る度に稲穂垂れゆく秋の圃に佇ちては惟ふ己が生く道

菱兵人 達夫

東風こちつよく卯月なれども肌寒し和と和の集ひグランドゴルフ

佐々木 新

歌おうよトトトトトと拍子打つ小さき踵はドラムのステック

梅木 隆子

来る春も綺麗な花をと願ひつつ雪ずで護る花芽の牡丹

齋藤 欽也

春となり人事異動に戸惑へど更なる高みへと精励すべく

佐藤 泰紀

つづ選りの干支の戌歳の質実さわれの廻りの八人を祝ひぬ

丸金 陽子

上郷短歌会

代掻きの田んぼの中に海鳥の五、六羽群れて餌を啄む

児玉 せつ

コンニャクをクラゲに変身させるわざ食の匠に驚き見入る

長谷川喜美子

明かり消し窓を開きて鳴く虫の声聞く時ぞ秋は匂へる

佐藤 伸子



西郷短歌会

手のひらをそつと合はせて一日の無事祈りつつ地下足袋を履く 斎藤あい子

だだちや豆は鶴岡の宝放映の「まんぷく農家めし」美味に感激 田中 章子

しぐれ降る初冬の庭の山茶花はゆられゆられて大きく咲けり 佐藤 庸子

立冬に菜の苗を手に来る春の盛りの花畑想ひて植ゑる 木村 ひさ

山峡さんかいの小さな村に吊し柿三毛猫二匹ひなたぼこせり 山口 晏子

冬晴れに山茶花の葉は艶めきてあまたの蕾は愛しかりけり 田村 富子

開演を待つ一瞬に緊張すカラオケグループ声高々と 伊田 晨

艶やかに黄色いりんごの名は「はるか」姪のはるかへ求め送らむ 佐藤 潤子

秋晴れに大根ほりあげ洗っては竹竿にかけ白いのれんに 伊藤 るみ

食の歳時記

お正月は伝統的な料理が食卓をにぎわします。
私たちの暮らしの中で習わしとなっている料理の縁起や作法を
もう一度見つめ直しましょう。

【文・イラスト】 食文化史研究家 永山久夫

若

水くみと 雑煮



昔は数え年。元日を迎えると誰もが一つ年を取りました。だから「明けまして、おめでとうございます」とあいさつ。お互いに無事に新年を迎えることができ、こんなおめでたいことはありません、と健康を祝ったのです。

元日最初に行うのが「若水（わかみず）くみ」です。一家の家長が、早朝の暗いうちに「福くむ、長寿くむ」と唱えながら、水をくみ、年神様に供え、お正月料理にも用います。

特に若水でたてたお茶を飲むと、水の霊力によって、年を取らないといわれ、女性だったら美人になり、良縁に恵まれると伝えられてきました。

不老長寿にとって水は重要。なにしろ、人体の半分以上は水。ところが、年を取るにつれて体内の水分は50%前後にまで低下してしまいます。組織が乾燥して体が硬化するのです。

水こそ長寿に欠かせません。ミネラルウォーターなど、健康に良い水を飲んで、さあ「フレール、フレール、不老、不老！」。

お

せち料理と 三つ肴で若返り



年神様と共にいただく山盛りにした山海のごちそうが「おせち料理」。ほとんどの場合、四段重ねの重詰めで、春、夏、秋、冬を示し、四季それぞれの気候の変化に負けない健康力を年神様からいただく料理という意味が込められています。

一の重は口取りといって、かまぼこやきんとんなどで、いってみればオードブルに当たるものを中心に彩りよく詰めます。

二の重はタイやブリ、エビ、ニシンなどの煮物といった料理が中心。DHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（エイコサペンタエン酸）など、脳や血管の老化を防いで長寿をもたらす成分の多い料理が用いられます。

三の重は煮しめ系で、八ツ頭、レンコン、ゴボウなど腸内環境を整える上で、重要な根菜系が多い。

与（四）の重は体調を整える効果の高い酢の物が中心。ダイコンやニンジン、紅白なます、それに結び昆布、シイタケ、凍り豆腐などを並べ、ビタミンやミネラル、抗酸化成分、食物繊維などが

たっぷり取れる料理に仕上げてあります。
お正月には、縁起の良い料理をいただくのが習わしで、その中の一つが祝い肴（ざかな）。

「三つ肴」とも呼び、この三種だけで、おせち料理の代わりになるほど重要。祝い肴の種類は関東と関西とは次のように違います。

関東：黒豆、数の子、ごまめ

関西：黒豆、数の子、ゴボウ

・黒豆 「黒」は魔よけの色。「まめに達者で」と願いながら食べます。

・数の子 ニシンの卵巣で、子孫繁栄のシンボル。

若返りのビタミンEがたっぷり。

・ごまめ カタクチイワシの幼魚で「田作り」と

もいい、カルシウムとタンパク質の宝庫。

・ゴボウ 土中深く根を張るところから、一家の

安泰と家族の無事を願って食べます。整腸効果

があり、不老長寿に役立ちます。



女性フェスティバル～美味しいつるおか菜発見～を開催!



グループ発表では日頃の練習の成果が披露された

J A 鶴岡女性部は12月3日、鶴岡市農村センターで「女性フェスティバル～美味しいつるおか菜発見～」を開催し、女性部員・組合員・関係者約300人が参加した。

このイベントは部員と組合員を対象に、女性部の重点目標である「食と農を守る活動」の地産地消運動を軸とした女性部活動の集大成披露の場と、部員同士の交流を深めることを目的に毎年開催している。

小林絹井女性部長は「女性部の役員・部員が一体となり、地産地消にこだわった真心がたくさん詰まった弁当を作り上げることができた。今日は部員の日頃の活動の成果をご覧いただきながら仲良く交流してほしい」とあいさつ。

その後、大分県佐伯市役所地域振興部まちづくり推進課食育推進・市民協働係総括主幹の柴田真佑氏が講演を行った。「食べることは生きること～親から子へ…いのちのバトンタッチ～」と題し、栄養や健康増進のことだけが食育ではなく「心を育てていくことも大切」と話した。

昼食には、女性部員手作りの『美味しいつるおか100歳弁当』が振る舞われ、鶴岡の食材を使った彩りが豊かで栄養バランスの良い料理に参加者は舌鼓を打っていた。

会場には部員が創作した絵画や手芸品、支部活動紹介パネルなどが展示され、バザー（収益は災害義援金と結核予防の募金に充当）、部員手作りの加工品の販売会、お楽しみ抽選会なども行われた。



笑いあり涙ありの講演



講師の柴田真佑さん



あいさつする小林絹井女性部長



フラワーアレンジメントを活かしたオブジェも展示



部員が創作した作品が展示された



健康寿命100歳弁当



サンプルで説明する専門部役員五十嵐さん。

長ねぎ専門部

軟白ネギ出荷規格を確認

長ねぎ専門部は11月30日、北部集荷場で軟白長ねぎの目揃会を開き、生産者、職員約50人が参加した。

営農指導員と同専門部役員の五十嵐隆幸さんが軟白長ねぎの出荷規格や注意点をサンプルを見せながら説明した。

販売担当からは「長ねぎは全般的に品薄感があり、競合する産地も無い。昨シーズンにテレビ放送された影響もあり引き合いも多いので、平準出荷と1ケースでも多く出荷してもらいたい」と呼び掛けた。

本格出荷となる12月から3月は「雪中軟白ねぎ」の名称で出荷されている。

なめこ専門部

発足45周年を祝う会

なめこ専門部は11月30日、発足45周年を祝う会を開き、生産者や職員21人が出席した。

なめこ専門部は1972年に設立し、現在は専門部員6人が活動している。なめこの空調施設をいち早く取り入れ年間を通じて安定的な供給を実現したとして、2010年には市の農業発展奨励賞を受賞した。

小南智専門部長は「45周年を迎えられたのも、専門部員や職員の方々の協力があったからこそと感謝している。今後も健康に過ごし頑張っていこう」と述べた。祝賀会では大黒舞を披露。45年の活動を紹介する思い出の写真が映されて、これまでの活動を振り返った。



大黒舞で45周年を祝った。

J A 鶴岡農政対策推進協議会

農協改革の情勢を学ぶ

J A 鶴岡農政対策推進協議会は11月28日、東京第一ホテル鶴岡で農政研修会を開き、96人が参加した。

講演では、ノンフィクション作家・評論家の関岡英之氏を講師に迎え、「農協改革と農業を取り巻く諸情勢」と題し農協改革に至った経緯や狙い、最新の動向などが伝えられ、農政活動の重要性について学んだ。

研修では、「収入保険制度の内容について」山形県農業共済組合収入保険準備室渡邊利幸室長が制度の概要や掛け金・支払額などを他の類似制度と比較しながら説明した。

「経営を考えながらリスクに備えてもらいたい」と呼び掛けた。



農協改革について講演する関岡英之氏。

介護教室を開催

日々の介護を楽に

福祉課は11月23日、大泉支所で日々の介護に役立ててもらおうと、介護教室を開き9人が参加した。

ベッドから車いす・ポータブルトイレへの移動や着替えの介助、おむつ交換などを職員が講師となり説明。参加者は実際に試しながら介護のコツを教わり、参加者が日頃、介護で困っている事も相談しアドバイスを受けた。また、いろいろな介護用品が状況に合わせ介護をする人の負担を減らす事も伝えた。同課の職員は「各家庭で介護に必要な知識や用具も変わってくる。困った事があればぜひ相談してもらいたい」と話した。



ベッドからの移動の実演を学ぶ参加者。

大山支所 組合員のつどい

農協改革を学び交流

大山支所は11月24日、大山支所で組合員のつどいを開き、約65人が参加した。

阿部昭裕参事が「農協改革 J A 鶴岡の今後の対応について」と題して講演し、農協法改正の意味や政府の狙い、同 J A の今後の対応について説明した。

自己改革の1つとして、中期経営計画と第11次地域農業振興運動計画を着実に実施し、販売額の増大に取り組んでいる事を伝えた。これからの J A 運営は、組合員の理解と協力を得て変化に対応しなければ生き残れないとした。

交流会では、新品種米「雪若丸」の試食を行いながら親睦を深めた。



阿部参事が説明し農協改革について学ぶ参加者。

(キリトリ線) ✂

郵便はがき
9 9 7 - 8 7 9 0

鶴岡市日吉町3番7号

J A 鶴岡

「組合員の声」係 行き
「ふれあい伝言板」係 行き



※差し支えなければご記入ください

お名前(フリガナ) 年齢 性別 男 ・ 女

〒 住所

お電話番号 () - 希望する ・ 希望しない 匿名を

※ポストに投函されるが、下記の無料ファックスダイヤルまで送信下さい

〈無料ファックスダイヤル〉 0800-800-5090

今回の広報けさん2月号は、2018年2月15日発行予定です。J A への意見・要望、ふれあい伝言板の他、本誌の感想なども左の無料ハガキにて、ぜひお寄せ下さい。

料金受取人払郵便

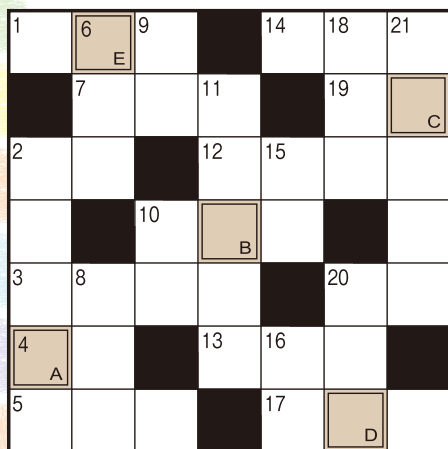
鶴岡局承認

45

差出有効期限
平成30年4月
14日まで
(切手不要)



色付きマスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉はなんでしょう？ 締切は2月5日。どしどしご応募下さい！
正解者の中から抽選で5名様に、1,000円分の『JA鶴岡お買物券』をプレゼント！ ご応募お待ちしております！



先月号の答え

フクブクロ

タテのカギ

- 2 友人の結婚をみんなで——した
- 6 魚の下ごしらえの際に取ることも
- 8 将棋に似た西洋のゲーム
- 9 五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- 10 温めた豆乳から引き上げます
- 11 アルバイトの面接を受ける際、書いて
持っていくことも
- 15 ドストエフスキーの著書『——と罰』
- 16 寒い日にはポッと赤くなる人も
- 18 ボルトと組み合わせで使います
- 20 セーフの対義語
- 21 模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ

- 1 2018年の——五輪は平昌で行われます
2 力士が踏むもの
3 ツルのものは長く、カモのものは平たい
4 尺八やフルートはこの仲間
5 医師に処方してもらうものの一つ
6 すいぶん——が飛躍しているなあ
10 銀世界を眺めて楽しむこと
12 日本——が寒波に覆われた
13 スマホで明日の天気——を調べた
14 漢字で書くと最中。あんの入った和菓
子です
17 桃太郎の場合は犬・猿・キジ
19 鬼の頭に生えています
20 バレンタインの本命チョコに込めます

ふれあい
伝言板

▼女性フェスティバルに参加し、講演「食えることは生きること」をお聞きして感動。また、このテーマにふさわしい昼食。本当においしかったです。ありがとう。

〔大淀川／70代女性〕

ご参加いただき、ありがとうございます。手作り弁当は毎年、女性部員が愛情込めて作っています。フェスティバルの様子を11ページに特集しておりますので、ぜひご覧ください。

▼12月号に掲載されている旅行の企画がすばらしく行きたくなりま
す。もっと多く紹介してほしいで
す。（伊勢横内／80代女性）

旅行の案内を見ると、いろいろと想像を巡らせます。美味しいものを食べて、いろんな所を見て、いろいろな思い出ができるのは楽しいですね。時間の許す限り満喫したくなります。今年はどこに行こうかなー。

■ けさらんちゃんへのメールは、kesaran@ja-tsuruoka.or.jp までどうぞ！

ふれあい伝言板・
組合員の声
応募用ハガキ

ＪＡ鶴岡ではよりよいサービス提供のため、皆様の声を大切にしています。皆様の声の窓口として、「組合員の声直通便」ハガキをご用意いたしましたので、このまま切り取ってぜひご利用下さい。

また、このハガキはクロスワードパズルの応募用、ふれあい伝言板への投稿用にもお使いいただけます。

クロスワードのこたえ

■正解者の中から、抽選で5名様にJ A 鶴岡事業利用券をプレゼント致します。『組合員の声』のみのご利用の場合、記入なさなくても結構です。

ふれあい伝言板

■広報に対するご意見、ご感想のほか、誰かに伝えたい・聞いてほしい話などなんでも結構です。皆様のあたたかいお声をお待ちしています。

組合員の声 直通便

■ J A事業に対する皆様の声をお聞かせ下さい。頂いたご意見は匿名にて広報へ掲載させて頂く場合があります。

[illegible]

水稲農薬予約申込み 及び価格情勢

今後配布取りまとめ予定の『平成30年用水稲農薬予約申込書』について、1月下旬までに各支所・支店又は生産資材課へ提出をお願いいたします。

平成30年の農薬情勢は、環境対策の強化に要する経費、人件費の上昇、原油価格上昇による原油・電気代の上昇、運転手不足による運送業界全体での値上げ気運などにより値上げ要請がありました。厳しい農業情勢下一律値上げを行う環境にない事をふまえて、数量減少に伴う採算悪化品目や銅地金の市況などを反映し40品目の値上げとなります。

水稲種子の配送開始について

平成30年播種用水稲種子につきまして、1月中旬より「はえぬき」から順次配送を開始いたします。「はえぬき」以外の品種につきましては、「はえぬき」の配送が終了してから2月下旬頃までの配送となります。平成30年水稲作付予定の方で水稲種子予約申込書を提出されていない方につきましては1月上旬までに各

支所・支店又は生産資材課へ提出をお願いいたします。

雪によるLPガスの事故をなくそう

雪により雪害事故が発生することがあります。

雪下ろしや除雪、落雪による調整器、ガスメーター等の損傷にご注意ください。

・屋根からの落雪

落雪により、ガス設備が損傷しないよう、早めの対策をお願いします。

・ガス設備周りの除雪

緊急時に容器バルブを閉止できるよう、ガス設備周りの除雪をお願いします。

【お問い合わせ先】

プロパン（すまいるプラザ内） ☎23-7714

果樹王国山形を支えるみなさまへ

多様化する自然災害に備えて、果樹共済への加入をお勧めしています。

降ひょう・ゲリラ豪雨・台風・豪雪・開花期の低温など、近年多発する異常気象による災害リスクをカバーする唯一の公的セーフティネット「果樹共済」は、

果樹農家の経営をしつかり守ります。

NOSAーでは、果樹剪定枝粉砕機貸出事業など、

損害防止事業を行う一方、行政や農協の協力を得ながら制度の普及を図っています。

【お問い合わせ先】

お住まいの集落の共済部長、担当の果樹専門共済部長もしくは山形県農業共済組合庄内支所果樹園芸課 ☎0234-91-1556

確定申告書の作成は国税庁ホームページで

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って金額等を入力することにより、確定申告書等を作成することが出来ます。

また、電子申告等データを作成すれば、e-Taxにより申告等を行うことが出来ます。なお、作成した確定申告書等は、印刷して税務署へ提出することが出来ます。

■申告書にはマイナンバーの記載が必要です。

■申告・納税期限 所得税及び復興特別所得税・贈与税 平成30年3月15日（木）まで

消費税及び地方消費税（個人事業者） 平成30年4月2日（月）まで

※納税（贈与税を除きます）は、口座振替が便利です。

■確定申告に関するご相談

鶴岡税務署（22-1401）にお電話いただくと、自動音声によりご案内します（音声案内に詳しい「0」を選択してください）。

また、税務署では、2月16日（金）から3月15日（木）（土曜日・日曜日を除きます）の午前10時から午後4時にエスモール2階に申告書作成会場を開設します。

なお、税務署には申告書作成会場を設置しておりませんのでご注意ください。

アグリ21 農業簿記パソコン講座「ソリマチ農業簿記確定申告・e-Tax講習会」参加者募集

●期日 2月24日（土）

●会場 JA鶴岡 農業振興センター 2F研修室

●時間 15:00～17:00

●定員 10名程度

●受講料 2000円

●締め切り 2月22日（木）

●申込方法 JA鶴岡の各支所・支店においてある申込用紙に必要事項を記入の上、各支所・支店・農業支援室に提出してください。または、農業支援室に直接Faxでお申込みください。

【お問い合わせ先】

農業支援室 ☎29-0455 Fax ☎29-0422

灯台

明けましておめでとうございませう。

何を書こうか思いつかなかったもので、趣味にしている「BBQ」セット作りを、今年は数セット制作しようと思っっています。結構時間が掛かり頼まれてもすぐ出来なくて大変です。完成して届けて、実際に使用した後、良かったと言われるとうれしく思い、また作るうかなと、でもだいたい形が決まっているので、もうちょっと変えてみようかなと思っても難しい面があり、作りながらどうしようか考えるのが楽しい時です。

店で売っている商品みたいにきれいな出来不出来も、これだけは言えます！頑丈に作ることは出来る。

広報委員 白幡 多一

（豊浦）

産直館

り初売



2018.1.5

福袋販売

玄米福袋と
(つや姫・はえぬき)
野菜&果物福袋があります!!
毎年一瞬で完売する超人気企画!!

甘酒ふるまい

ご来店のお客様に甘酒の
ふるまいがあります!!
開店から開始
(無くなり次第終了)

謹賀新年

本年も産直館3店舗を
よろしくお願いいたします。

産直館

■白山店

鶴岡市白山字西野191-2
☎0235-25-6665
営業時間9:00 ~ 18:00

■駅前店

鶴岡市日吉町3-3
☎0235-22-0202
営業時間9:30 ~ 18:00

■のぞみ店

鶴岡市のぞみ町8-52
☎0235-35-1477
営業時間9:30 ~ 18:00



JA鶴岡広報誌『けさらん』No.565 2018年1月発行

●連絡先／鶴岡市農業協同組合 〒997-8558 山形県鶴岡市日吉町3-7 0235-23-5090
●ホームページ <http://www.ja-tsuruoka.or.jp> ●Eメール kesaran@ja-tsuruoka.or.jp

